

明治グループの食品ロス削減 に向けた取り組み

2022年4月

明治ホールディングス株式会社

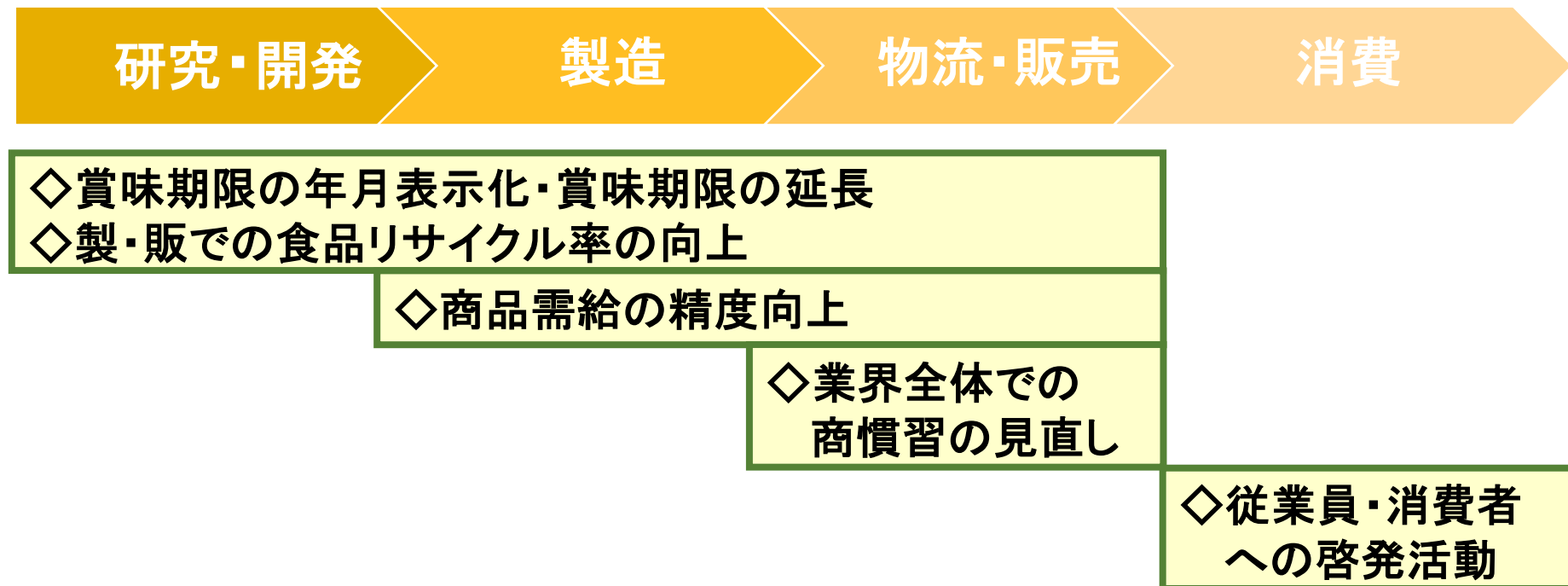


明治グループの食品ロス削減の考え方



「食品ロスを極力発生させない」ことをポリシーとして
従業員に「もったいない精神」を醸成し
バリューチェーン全体の各プロセスに沿って取り組むことが必要

【バリューチェーンの各プロセスでの取り組み】



食品ロス削減の取り組み



【自社】商品需給の精度向上による不良在庫の削減

●生産部門と営業部門の連携強化

過去の販売実績、店頭販促状況などを参考に需給の精度アップ

●小売業との連携

販売予測の難しい新商品は、初回販売データによりその後の販売を予測し、生産計画に反映

【業界全体】納品期限に関する商慣習の見直し

従来の商慣習とされる納品期限「1/3ルール」の見直しに向けた取り組みを推進

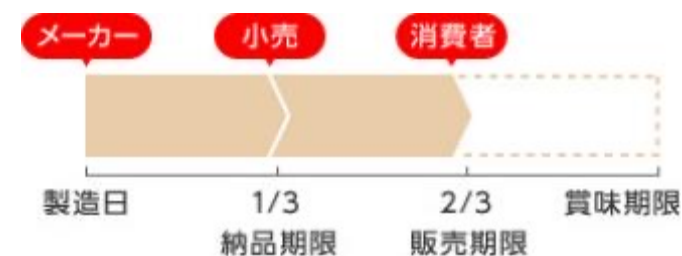
→「賞味期限の延長」「年月表示化」と三位一体で取り組む

<現状>

- ・大手小売業を中心に納品期限「1/2」へ緩和

<今後の課題>

- ・ローカルへ展開拡大するため業界全体で取り組む
- ・日配品などでの受発注リードタイムの緩和



食品ロス削減の取り組み



賞味期限の延長・年月表示化

●賞味期限の延長

品質への影響がないことを確認できた商品から順次実施

21年9月対応
アミノコラーゲンドリンク他



●年月表示化

賞味期限361日未満の市販商品の賞味期限の年月表示化を順次実施

21年9月対応
「まるごと野菜スープ」シリーズ他



3R推進会議を通じた食品廃棄ロス削減

●3R推進会議の開催

生産系事業所、生産系グループ会社、本社関係部署が参加し、食品廃棄物の3R推進について情報共有する会議を実施(年1回)

●取組み共有によるリサイクル率の向上

各拠点での排出量削減や食品リサイクル(肥料化、飼料化、メタン発酵)の取組みを共有し、食品リサイクル率向上を推進

豊かな社会づくりと食品ロス削減の取り組み



災害備蓄品の寄贈

- ・概要: 全国の事業所で管理している災害備蓄品を、賞味期限約2カ月前の段階で、全国フードバンク推進協議会やセカンドハーベストジャパンに寄贈。
- ・寄贈品: 銀座カレー3,420cs、即攻元気ゼリー900個、アルファ米72箱など



全国フードバンク推進協議会加盟のフードバンクや子ども宅食実施団体への寄贈

- ・概要: コロナ禍で食品を必要としているお子さまやそのご家庭の皆さまに笑顔になって頂けるように、支援ニーズが急増しているフードバンク等に菓子などの食品を寄贈。
- ・寄贈品: 菓子などの食品6種類 計約6万個



国連WFP協会「ゼロハンガーチャレンジ」キャンペーンへの参加

- ・概要: 消費者が食品ロス削減の取り組みを、指定ハッシュタグを付けてSNSに投稿すると、企業の協力により1投稿120円(学校給食4人分)が国連WFPに寄付され途上国の子どもたちに学校給食が届けられる。
- ・実施期間: 2021年9月29日～10月31日



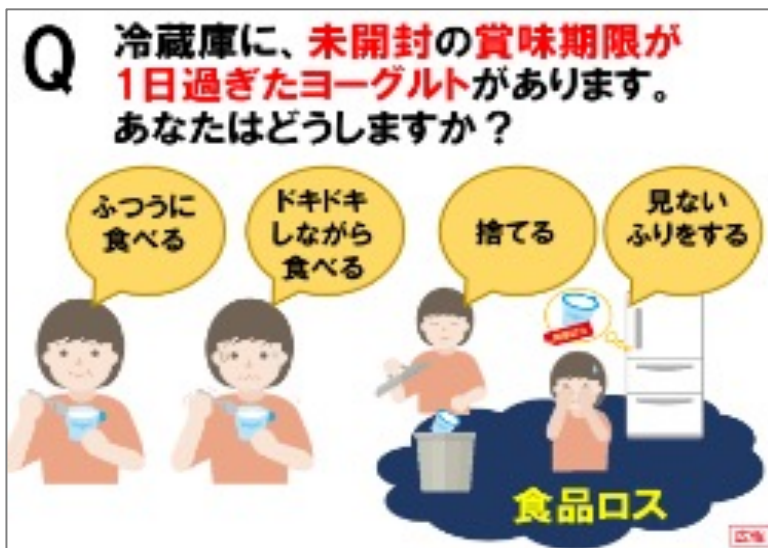
「食品ロス削減」を訴求した食育活動の実施



食育セミナーを通じて、食品ロスに関する注意を喚起

⇒食卓と世界がつながっていることを感じてもらい、日々の行動に繋げる
きっかけ作りを実施

2020年10月より大人向けセミナー内で「食品ロス削減」のテーマを追加



簡単なQ&Aを用いながらわかりやすく伝える

- 日本と世界の食にまつわる社会課題
→食料不足の一方で大量に廃棄されている実態
- 食品の保存に関する情報
→賞味期限の正しい知識、開封前後の注意
- 明治の取り組みや工夫を紹介

